

「歯科医師の資質向上等に関する検討会」において議論する事項及び論点について（たたき台）

1. 歯科医療を取り巻く状況

- 近年、急速に高齢化が進む中で、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービスを地域において総合的に確保するための改革が、各地域において具体的に今後取り組まれることとされており、地域における歯科医療の関わりについても具体的に検討を行う必要性が求められている。
- 歯科医療を取り巻く状況は、小児のう蝕罹患率の大幅な減少や8020達成者の増加がみられ、また、口腔と全身との関係に着目した知見が集積されるなど、高齢者のQOLの維持・向上を念頭におきつつ、各ライフステージに対して切れ目なく歯科医療を提供していくことが求められている。更に、平成23年8月には、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が公布・施行され、口腔の健康が、質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を担っていることが条文中で謳われていることを踏まえ、医療現場や介護現場と連携して歯科医療を提供していくことが不可欠となっている。
- 併せて、高齢化の進展に伴い、歯科医療機関を受診する患者像も高齢化・多様化しており、これらの患者に対応するための、歯科医療の提供の在り方や歯科医師の資質向上の検討が求められている。

2. 歯科医師を取り巻く状況

(1) 歯科医師の需給

- 歯科医師の資質向上に関する取り組みは、平成18年の文部科学・厚生労働両大臣で取り交わされた確認書に象徴されるように、これまでは、歯学部入学定員や歯科医師国家試験を中心に議論が行われてきたところであるが、歯科医療を取り巻く状況も踏まえ、質の高い歯科医師を輩出するため、作業部会において下記の論点に立脚して議論してはどうか。

【論点】

- ① 歯科医療を取り巻く状況を踏まえて、国民や患者が求める歯科医師像はどのようなものか。
- ② 歯科医師の養成課程において、コミュニケーション能力や一定の学力等の基本的資質を有さない学生や歯科医師国家試験を繰り返し受験し、歯科医師臨床研修やその後の歯科診

療に支障を来たす者について、どのような対応が考えられるか。

- ③ 歯科医師又は歯科大学在学時の知識や技術を活用し、他職種での活用等の対応が考えられるか。
- ④ その他、他職種や他分野での需給に関する取り組み等を参考として、どのような対応が考えられるか。

(2) 女性歯科医師

- 他方、医師については、平成 26 年 6 月に閣議決定された日本再興戦略に基づき「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」が設置されるなど、女性医師の働き続けやすい環境整備に向けた課題等について議論が行われており、歯科医師についても近年女性の割合が増加し、女性歯科医師の活躍の場や歯科医師の働き方についても議論を行う必要があるため、作業部会において下記の論点に立脚して議論してはどうか。

【論点】

- ① 女性歯科医師の増加に伴い、歯科医師の働き方やキャリアパスについて、どのようなことが考えられるか。
- ② 結婚・出産等に伴う離職や復職を想定しつつ、女性歯科医師が活躍する場について、どのようなことが考えられるか。

(3) 歯科医療の専門性

- 更に、医師については、患者に対して良質な医療の提供等を目的として、「専門医の在り方に関する検討会報告書」が平成 25 年 4 月に取りまとめられ、平成 29 年度を目安に新たな専門医の養成が開始する等、医師や医療を取り巻く状況を踏まえ様々な観点から議論が行われている。
- なお、歯科については、平成 18 年に公表された「新医師総合確保対策」において歯科の専門医制についても検討するとされているが、昨今の国民が求める歯科医療ニーズの多様化を踏まえ、改めて国民が求める歯科医療の専門性等について一から議論を行う必要があるため、作業部会において下記の論点に立脚して議論してはどうか。

【論点】

- ① 国民が求める歯科医療の多様化に対応しつつ、安全・安心な歯科医療を提供するために、歯科医療の専門性についてどのように考えるか。
- ② その上で、歯科医療の中で既に位置づけられている専門医についてどのように考えるか。